

市政トピックス

■市総合計画後期基本計画 市民ワークショップの開催

市民の視点から相互に意見交換を行い、出された意見を後期基本計画の策定に反映するため、市民ワークショップ(全5回)の第2回を5月26日、堀金総合支所会議室で行いました。当日は公募委員など市民約40人の委員が参加しました。ワークショップでは、5つのグループに分

かれた委員が、身近に感じた問題、地域の財産、不足しているところなど、市の強み、弱みを各自書き込んだ付せんを貼り付けながら課題を見つける作業を行いました。
委員の三好一賢さん(豊科)は、「安曇野にある、たくさん良いところをみんなで見

たくて参加しています。ほかの人の意見も参考に良い提案をしたいです」と意気込みを話してくれました。
次回以降は、分野別の5つのグループで主要テーマごとの課題を踏まえた解決策の検討を深めます。

■さらなる協働のまちづくりに向け5地域の地域審議会へ諮問

市は5月31日、県安曇野庁舎で5地域の地域審議会へ諮問を行い、宮澤市長から各地域の会長へ諮問書が手渡されました。今回の諮問の内容は市民と行政の協働に向けた、行政システムのあり方について意見を求めるものです。これまで市民と行政の協働のあり方は、平成20年6月に指針を策定しましたが、今日の社会情勢の下、地域課題が複雑多様化し、その解決に向けて、市民と行政がより連携・協働するシステムが求められています。



各地域審議会会長へ諮問書を手渡す宮澤市長

動との協働のあり方やその推進のための行政システムのあり方などについて審議し、来年2月までに答申をまとめます。
市では、答申を受け、平成25年度中に新たな協働を推進するための基本方針と行動計画を策定する予定です。

住民自治組織のリーダー

安曇野市 新年度区長紹介

市内83区の区長がそれぞれ選出されました。各地域の区長と本年度の区長会役員の皆さんを紹介します。(敬称略)

市区長会役員

会長に就任して

83区の全区長が各地域の誇りを大切に、行政と対等な立場で地域課題を共有しながら、市民一人ひとりがこの地域に住んでよかったと思う場所を、自らがつくる地域コミュニティづくりを進めます。各種行事を通じ、市民全体の意識を高め、協働の精神、支え合いの心の構築を区長会として目指します。



会長
内川勝治(宮中)



副会長(会長代理)
那須 誠(穂高町)



副会長(事務長)
宮島千里(岩原)



副会長(会計)
三澤鑛一(七日市場)



副会長
青山 守(踏入)

市内83区の区長

豊科地域(23区)	光	藤松	智	柏矢町	仁科	清司	上堀	百瀬	金重
上鳥羽	幸村久雄	桜坂	太田忠雄	島新田	山本肇	中堀	小島賢	重雄	重雄
下鳥羽	仁科三郎	穂高地域(23区)	青木花見	清澤智行	下堀	平倉盛	高橋清	美一	美一
本村重	森一雄	矢原寺	林茂男	狐島大	谷今朝人	扇町	竹内純	一治	一治
吉野草	間秀康	白金	佐藤喜四郎	三郷地域(14区)	小田多井	北野孝	石塚健	一治	一治
成相山	口高史	等々力	望月義章	北小倉	松澤俊文	田尻	北野孝	一治	一治
新田坂	横正二	等々力町	市川直哉	南小倉	中田育成	田多井	石塚健	一治	一治
寺所平	林茂寿	穂高町	那須誠	東小倉	上嶋健男	明科地域(14区)	大堀和	年	年
踏入青	山守	穂高	江津武	室町小	幡恒男	大足	大堀和	年	年
細萱降	旗敦海	橋爪	胡桃寿	野沢	帯刀康	躬光	山崎芳	實	實
重柳酒	井武雄	耳塚	竹原徳	上長尾	戸川博	宮中	内川勝	治	治
真々部	田村浩	富里	栗原定	下長尾	鳥原寛	海町	竹田宏	行	行
たつみ	高山彬	豊里	勝野公	楡	丸山耀	一郎	腰一	永	永
飯田竹	内勝	小岩	矢野口	陽一	住吉	百瀬誠	関剛	剛	剛
下飯田	猪原功	嵩下	小林幸	岐人	七日市場	三澤鑛	滝沢文	芳	芳
中曾根	三原正	隆新	屋金子	増生	一日市場	金井透	滝沢良	水	水
熊倉丸	山敏昭	古厩	下川康	太郎	二木丸	山哲三	伊藤昌	弘	弘
アルプ	百瀬陽	子立	竹村武	及木	伊藤一	登	大石昭	明	明
徳治郎	栗山常	雄柏	原熊	井深	男中	萱中	屋孝	夫	夫
田沢増	澤道弘	久保	田小松	正直	堀金地域(9区)	塩川原	真島	幸	幸
小瀬幅	宮澤英	雄塚	原児	玉富	夫岩	原宮	島千	里	里
大口沢	市川良	一牧	小林善	明倉	田滝	澤南	陸郷	遠	遠